



平成27年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月5日

上場取引所 東

上場会社名 ティーライフ株式会社

コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植田 伸司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第3四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第3四半期	5,112	10.7	199	△36.6	207	△37.1	50	△72.8
26年7月期第3四半期	4,617	9.6	315	30.0	329	29.8	186	31.6

(注) 包括利益 27年7月期第3四半期 71百万円 (△61.0%) 26年7月期第3四半期 182百万円 (△6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第3四半期	11.94	—
26年7月期第3四半期	43.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年7月期第3四半期	5,104	3,607	70.7	848.81
26年7月期	4,481	3,642	81.3	857.08

(参考) 自己資本 27年7月期第3四半期 3,607百万円 26年7月期 3,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年7月期	—	0.00	—		
27年7月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,886	14.5	404	4.8	430	11.8	235	4.9	55.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年7月期3Q	4,250,000 株	26年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	27年7月期3Q	57 株	26年7月期	57 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年7月期3Q	4,249,943 株	26年7月期3Q	4,249,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢などに改善が見られたものの、個人消費の回復の遅れや円安による原材料価格の上昇、海外景気の下振れなどの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する小売・卸売業界におきましては、消費税率引き上げによる個人消費の低迷に加え、業種・業態を問わず価格競争が激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、中期経営計画（平成27年7月期～平成29年7月期）において「差別化戦略の推進・将来への布石・強固な経営基盤の構築」を経営方針として掲げ、商品・企画・サービスレベルの向上による競争優位の創造、顧客開拓・M&Aなど成長に寄与する分野への先行投資、販売チャネルの共有・資金の有効活用によるグループ経営の効率化に取り組んでまいりました。

なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイクの全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,112百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

損益面では、営業利益は199百万円（同36.6%減）、経常利益は207百万円（同37.1%減）、四半期純利益につきましては50百万円（同72.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

（小売事業）

小売事業では、ネット広告をはじめ効率の良い媒体に適時、原資を集中投下するとともに、一定期間お買い上げいただいていないお客様へのアプローチを進め、顧客の開拓及び深耕に努めたほか、コールセンターを活用した販売促進策により、安定した収益の基礎となる定期会員の拡大に努めてまいりました。また、リピート率の高い自社製造商品の試供品配布、季節商品や新商品の投入に加え、お客様から高い支持を得ている商品券セール（商品券、未使用の切手・ハガキ等の手持ちの金券で買い物ができる企画）や下取りセール（手持ちの健康食品または化粧品の送付で買上金額が割引される企画）など独自の商品やサービスの展開により、他社との差別化に努めてまいりました。

この結果、売上高は3,471百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、定期会員の確保に向けた各種費用への先行投資などにより、セグメント利益は226百万円（同20.5%減）となりました。

（卸売事業）

卸売事業では、株式会社ダイカイクの加入により生活雑貨の品揃えが飛躍的に拡大したほか、欧州ブランドの日本市場での認知度向上やオリジナル商品の開発、好調なインテリア雑貨の拡充に取り組んでまいりました。また、テレビ通販番組内でのプレゼンテーションや小売店での売場づくりなど、商品の効果的な訴求方法を研究し、販売先への提案力を強化してまいりました。あわせて、展示会への出展により新たな販売先の開拓に注力するとともに、海外のテレビ通販番組への商品供給を進め、販路拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,637百万円（前年同四半期比50.3%増）と伸長したものの、円安による仕入価格の上昇に加え、販売費及び一般管理費が増加し、セグメント損失は31百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント利益）となりました。

（その他）

その他は、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業であります。

当第3四半期連結会計期間より、グループの物流センターとして取得した建物の一部を不動産賃貸事業に活用し、売上高は3百万円、セグメント利益は3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、5,104百万円（前連結会計年度末比623百万円増）となりました。流動資産の減少（同554百万円減）は、主に現金及び預金が714百万円減少したことによるものであります。固定資産の増加（同1,177百万円増）は、主に土地が920百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,497百万円（前連結会計年度末比658百万円増）となりました。流動負債の増加（同652百万円増）は、主に短期借入金が500百万円増加したことによるものであります。固定負債の増加（同5百万円増）は、主に退職給付に係る負債が6百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,607百万円（前連結会計年度末比35百万円減）となりました。純資産の減少は、その他有価証券評価差額金が20百万円増加したものの、利益剰余金が55百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結の範囲の重要な変更）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイの全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,367,709	653,239
受取手形及び売掛金	602,978	770,853
有価証券	332,114	202,228
たな卸資産	541,957	626,752
未収還付法人税等	3,772	1,016
その他	59,121	104,567
貸倒引当金	△9,891	△15,247
流動資産合計	2,897,762	2,343,410
固定資産		
有形固定資産		
土地	118,184	1,038,429
その他	205,299	448,308
有形固定資産合計	323,484	1,486,737
無形固定資産		
のれん	199,509	84,357
その他	102,261	86,075
無形固定資産合計	301,770	170,432
投資その他の資産		
投資有価証券	526,529	658,309
その他	434,723	449,478
貸倒引当金	△3,149	△3,608
投資その他の資産合計	958,103	1,104,179
固定資産合計	1,583,358	2,761,350
資産合計	4,481,120	5,104,760
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,643	224,038
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	77,009	31,552
賞与引当金	33,773	74,720
役員賞与引当金	10,120	8,700
ポイント引当金	13,622	12,441
その他	273,781	384,397
流動負債合計	582,949	1,235,850
固定負債		
退職給付に係る負債	38,796	45,018
その他	216,833	216,476
固定負債合計	255,629	261,494
負債合計	838,579	1,497,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	2,924,922	2,869,437
自己株式	△34	△34
株主資本合計	3,608,137	3,552,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,403	54,763
その他の包括利益累計額合計	34,403	54,763
純資産合計	3,642,541	3,607,415
負債純資産合計	4,481,120	5,104,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)
売上高	4,617,204	5,112,741
売上原価	1,611,578	1,961,892
売上総利益	3,005,625	3,150,848
販売費及び一般管理費	2,690,167	2,950,924
営業利益	315,458	199,924
営業外収益		
受取利息	2,384	2,297
受取配当金	1,469	1,224
その他	10,808	7,841
営業外収益合計	14,662	11,363
営業外費用		
支払利息	8	623
支払保証料	—	607
支払手数料	296	297
投資有価証券評価損	—	2,100
その他	220	222
営業外費用合計	525	3,851
経常利益	329,595	207,436
特別利益		
固定資産売却益	—	1,104
投資有価証券売却益	3,073	2,905
保険解約返戻金	—	10,782
特別利益合計	3,073	14,791
特別損失		
減損損失	—	69,111
その他	1	24
特別損失合計	1	69,135
税金等調整前四半期純利益	332,667	153,092
法人税等	145,947	102,329
少数株主損益調整前四半期純利益	186,719	50,763
四半期純利益	186,719	50,763

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	186,719	50,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,121	20,359
その他の包括利益合計	△4,121	20,359
四半期包括利益	182,598	71,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,598	71,123
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,527,497	1,089,707	4,617,204	—	4,617,204	—	4,617,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,034	15,858	16,892	—	16,892	△16,892	—
計	3,528,531	1,105,566	4,634,097	—	4,634,097	△16,892	4,617,204
セグメント利益	284,218	32,657	316,876	—	316,876	△1,418	315,458

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,418千円は、セグメント間取引消去等であります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 第2四半期連結会計期間において、コラムジャパン株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「卸売事業」セグメントにおいて282,365千円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,471,300	1,637,740	5,109,041	3,700	5,112,741	—	5,112,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	484	21,046	21,531	—	21,531	△21,531	—
計	3,471,784	1,658,787	5,130,572	3,700	5,134,272	△21,531	5,112,741
セグメント利益又は損 失(△)	226,057	△31,722	194,334	3,411	197,746	2,178	199,924

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,178千円は、セグメント間取引消去等であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「卸売事業」セグメントにおいて382,575千円増加しております。
 5. 当第3四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日と比べ、報告セグメントの資産の金額は、「小売事業」セグメントにおいて増加しております。これは主に、物流センターの取得により「土地」が683,317千円、「建設仮勘定」が206,838千円増加したこと等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「卸売事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において69,111千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「卸売事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上した為、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において69,111千円であります。